

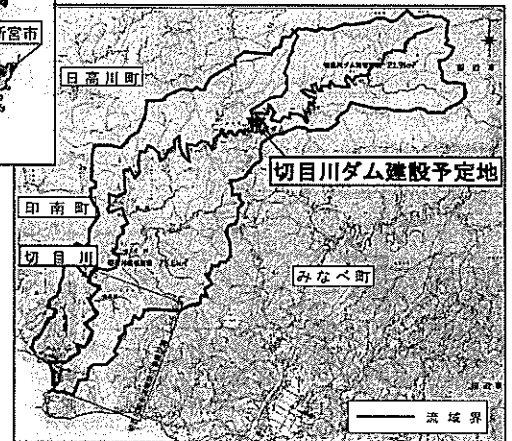
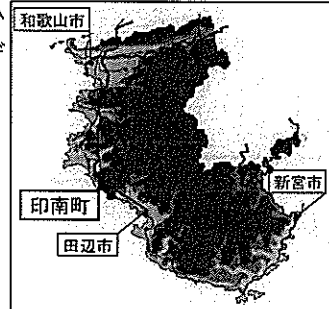
パブリックコメント（募集要領、提出意見）

問い合わせ先
かわむら しおさき
河川課 川村、汐崎
TEL 073-441-3134

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」（素案）についてご意見を募集しています。

和歌山県では、国から要請のあった「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」を進めているところです。これまでに、切目川ダムとダムを含まない方法の両方からなる複数の治水・利水対策案等について検討・評価を行い、このほど「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」（素案）としてとりまとめましたので、公表し、これに対するご意見を広く県民の皆様より募集します。

多数のご意見をお待ちしております。ぜひご協力頂きますようよろしくお願い申し上げます。



1. ご意見募集期間

平成22年12月6日（月）

～平成22年12月24日（金）

2. 閲覧方法

1) インターネット

- ・和歌山県情報館 県民意見募集ページ
(http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/ikenbosyu/ikenbosyu_index.html)
- ・和歌山県河川課ホームページ
(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/080400/>)

2) 閲覧場所 閲覧時間；午前9時～午後5時

- ・県庁情報公開コーナー (ただし、土日祝日を除く)
(県庁本館2F、和歌山市小松原通1-1)
- ・和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課 (県庁南別館8F、
和歌山市湊通丁北1-2-1)
- ・日高振興局建設部総務調整課 (御坊市湯川町財部651)
- ・日高振興局建設部切目川ダム建設事務所 (印南町古井520-1)
- ・印南町建設課 (印南町大字印南2252-1)

3. ご意見の提出方法及び提出先

- ・方法：記載様式は自由としますが、1,000字を超えるご意見には、必ず200字以内の要旨を添付し、郵送、FAX、電子メール、持参のいずれかにより下記提出先に提出してください。頂いたご意見について問い合わせをさせて頂くことがございますので、提出の際には、住所、氏名、電話番号の記載をお願いいたします。ご意見等の概要を公表する際には、住所・氏名・電話番号は公表いたしません。また、個人情報、個人情報保護法に基づき取り扱います。
- ・提出先：〒640-8585（県庁専用郵便番号につき、所在地記載不要）
県庁 河川課 河川企画班 「検証パブコメ」 宛
TEL：073-441-3134（問合せのみ）
FAX：073-433-2147
E-mail：e0804001@pref.wakayama.lg.jp

4. 提出されたご意見等について

頂いたご意見への回答等は、後日、県庁河川課のホームページにおいて公表いたします。
(個別の回答等はいたしかねますので、あらかじめご了承願います。)

〈 印南町在住の皆様から提出されたご意見 〉

「切目川ダム建設事業の検証にかかる検討」についての意見

私は、切目川流域の[REDACTED]水利組合の代表を務めさせていただいております[REDACTED]です。去る12月7日に行われました検討会に出席させていただきましたが発言の機会に恵まれず書面をもって一日も早いダム建設を願って、以下のような意見を申し上げます。

切目川下流域に生活している者にとって、切目川は命の源であります。毎年のように起きる洪水と浸水による被害で農作物が壊滅的な被害を受けるとともに家屋の浸水に悩まされてきました。特に最近の農業では、施設栽培が中心となってきている折から浸水による被害は、農業経営に壊滅的な打撃をもたらします。昭和63年の水害を機に切目川の河川改修と治水計画が立てられ、ダム建設が決定したときには、「切目川流域に住む人々の苦しみの歴史が、安心して暮らせる地域に変貌できることになるぞ」と、その一日も早い実現を待ち望んでおりました。また渇水期になりますと河川は、流量が極端に減って川の瀬に水が残る程度で川の瀬はとぎれてしまいます。川に住む魚介類も大量に死んでしまうこともあります。もちろん用水にも事欠き水利組合としても淵のたまり水を取水口に誘導するのもにも苦勞しています。こうした状況は、切目川流域の特殊な環境、すなわち、土層が第三紀層の粘土質で吸水性が弱いこと、山が急峻で雨水の流れが速いこと、川は急流で蛇行していること、流域面積が広い割に平野部が少ないことなどで起こってきていると思われまます。こうした状況を解決するためにはダムの建設をおいて外にないと思しますので一日も早くダムの建設をお願いします。

郵便番号 [REDACTED]

Te l [REDACTED]

携帯番号 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

Subject: 切目川ダム関連(生態系)

From: [REDACTED]

Date: Thu, 9 Dec 2010 07:46:01 +0900

To: <e0804001@pref.wakayama.lg.jp>

切目川ダム関連(生態系)について

ダムの上流についての対策もお願いしたい。

- 1、きれいな水を望む声があるということは、ダム上流の家庭用排水等の整備が必要ではないのか、又上流の住民の協力呼びかけも必要ではありませんか。
- 1、増水による被害はダム下流はダムによって軽減されますが、上流では
渇水時の費用が出ないと伺っていますが、増水被害は何年何十年に一度位と思われませんが、生活用水に365日使用するのにも関わらず
上流に大しては渇水対策も行わないとの事では、上流に生活する者にとっては、ダムは無用のものと捉えるしかありません。
ダムの水は、上流から流れているのですから。

生態系保存について

- 1、河川災害を考えると必要なのは、水流を遅く考える事だと思います。
河川の植物(柳等の樹木や草)は水流をやわらかくブレーキの役目をしてくれます。 景観を考え増やす手段を考えて欲しい。
- 1、又、石や岩も、ブレーキの役目をしますので必要と思います。
- 1、悪いのは、コンクリートによって、直線化して水量を早めている事です。
直線化する事によって、魚介類が増水時に流されてしまう為、
魚介類の待避所の様な箇所を、所々に作って欲しいです。
これは、人間が流された時にも役立つのではないかと考えられます。
人間が、おぼれて流される時、「藁をもつかむ」と言いますがつかむ所や水の水流の弱まる場所が有効になると思います。

[REDACTED]

切目川ダム建設事業の検証に係る検討(素案)についての意見

二級河川切目川水系河川整備基本方針

○平成 11 年 8 月 27 日建設大臣認可では
次のように説明を受けました。

治水方式の検討経緯

(1) 河川改修案・・・洪水調節ダムを築造せず、河川改修だけを行うこと。

- ① 堤防嵩上げによる改修・・・事業費約 280 億円
- ② 堤防引提による改修・・・事業費約 270 億円
- ③ 河床の掘削による改修・・・事業費約 230 億円

(2) 河川改修プラス洪水調節ダム案

①洪水調節ダムを構築し、河川改修と組み合わせる案が考えられる。

一般的に河川改修に要する費用と、洪水調節ダムの築造に要する費用との合計額が最小になるように、河道とダムとで受け持つ洪水流量を配分する方法が採られている。

切目川について、この方法で検討したところ、概ね 70 年に一度程度発生する規模の洪水における、基準地点切目橋での流量 780 立方メートル/秒のうち、洪水調節ダムで 70 立方メートル/秒を調節し、河道で 710 立方メートル/秒を受け持つ場合に、費用の合計額が最小となった。

この場合、河川改修と洪水調節ダムの合計の事業費は約 180 億円で、前記の 3 つの河川改修案と比較してももっとも安価になる。

河川改修とのセットである説明と、湾曲部はそのままにし、堆積土砂の除去などをまめにやる。切目大浜については洪水時でも上流から土砂の供給はあまりなく、ダムができて浜が細るという恐れはほとんどないと答えた。またダムの環境への影響については「工法により大きな差が出るので、影響をゼロに近づけるための工法をこれから数年かけてみっちり検討する」河川改修では「人工の瀬や淵をつくり、改修後は、鮎などの魚が増えるような整備をしたい」河川環境の保全動植物の生息・生息環境の保全に努めると説明していた、しかし環境アセスメントや環境影響の回避、低減、代償措置の取組みが「切目川ダム検証に係る検討」(素案)の概略を見ると具体的な実施や維持管理の継続性など河川整備計画がコンクリートダムありきの素案であるように思う。

治水対策案の概略と検討

前記のとおり、切目川水系河川整備計画で河川改修とダムのセットで進んで

いて、国からダムをつくることの再検証になって、治水目的の評価として、ダム案・遊水地追加案・河床掘削追加案・河床掘削嵩上げ追加案でダム案がもっとも有利と算出しているが、例えば、古井利水基準点を遊水地として機能する可能性のある地帯に約250億円選定していますが、百年に一度の洪水に、これらの箇所これだけの費用をかけることとコンクリートダムの方がコストが低いと、コンクリートダムありきの素案になっているように思いますが。

利水対策案の概略と検討

利水対策について、切目川流域河川整備とダム治水事業をセットで印南町水道水の一本化も含めて多目的事業として始めました、しかし水道用水として計算上、最大1,000m³/日しか確保できません。

新規利水(水道)ダム案整備約6.2億円、管理1千万円/年水道施設含むは、残るダム事業に含まれると考えてよいか、利水対策案として、河口堰と海水の淡水化等を検証の対象にしていますが、そんなに費用をかけなくても、水系間導水や地下水か伏流水か流域には、どこでも沢山あることが、ボーリングの結果が出ています、(印南町の水源ボーリング、羽六地内)、などとてもコンクリートダムが有利とは思えません、この素案でいいのか疑問です。

河川改修事業の概要と進捗状況

切目川流域河川整備計画工事では、進捗率30%で、平成18年5月7日古井観測で2.28m・平成18年7月5日古井観測で3.11m・平成22年7月9日古井観測で2.58m累計130mmでも大きな被害に至っていません、切目川ダム流域河川整備計画これまでの実施事業の成果が出ています。

治水目的の評価

環境への影響では、評価・予測ダム案、切目川ダム環境委員会で審議。継続的なモニタリング、必要な環境保全措置、環境配慮を行う。とありますが、切目川ダム環境委員会は平成19年5月発足され、事業主体、県の資料により審議されています、平成5年切目川ダム環境アセスメントで確認できていた生物や環境評価について委員会では審議されているのか、なでなら、切目川ダムにおける環境評価について、平成21年10月切目川ダム環境委員会と和歌山県の作成資料には、すべての生物について、コンクリートダムで河川環境が変化すると、生活が出来ないや極端に減少するだろう生き物の審議がされて無いように思いますが。

環境影響評価

環境への影響について、この素案では、大切にしなければならない生物多様性の面と、ダムに土砂が百年で一杯になるとか(ダムに水が溜まると、水面の流域表土がずれダム湖に溜まる又ダムと国道 425 号線が改良されていくと思うが、切目川と国道は隣接していて工事により土砂が流出されダムに百年で一杯になると試算されているが、大丈夫だろうか)、ダムができては浜が細る恐れは、ほとんど無いとのことですが、環境対策の結果が設計・施工にフィードバックされているのか、モニタリングによる対策効果に関する課題が共有されているのか、対策により設置したダムの維持管理の持続性や、維持管理作業を誰がいつまで継続していくか不明確で、中長期的な投資効果の視点が乏しく完成後を見込んだ財政的裏づけが無く適切な維持管理が出来にくい、切目川ダム建設事務所や切目川ダム環境委員会、地域との連携を取りながら、回避・低減・代償(ミティゲーション)など検証して、全国に誇れるダム(魚道設置やスリットダム)であれば、地域も水没された方々も、地域の生きものも喜んで子や孫に引き継げるのではないかと思います。

流域では、環境学習を行っています、一つの例として、腐葉土が 1cm できるのに百年の歳月が必要だそうだが、牛乳パックに、自分で拾ってきたどんぐりを蒔き、翌年その牛乳パックの苗木をピオトープに置きます、最初に置いた苗木が昨年より実をつけ、カブトムシやクワガタムシも集まっています、百年、二百年、永い年月から流域への雨水は、森林の腐葉土を透ってフミン酸・フルボ酸と言う酸を田畑や住民生活に利用され流域の鉄分を多く含んで海まで運ばれます海では、豊富な養分を蓄え、モクズガニや鮎、うなぎ、手長えび等が海の養分を山や川、田畑に運びます、生物の循環、生物多様性が保たれています、流域がコンクリートダムで分断されると、生物多様性が保てない、費用対効果でコンクリートダムを完成させたとしてもコストばかりを重視するのではなく長期的視点を見込んだ財政的裏づけをしっかりとしないと、水道水の臭いだったり、地域の主産業にも、影響が出てくるかもしれません。

切目川ダム環境委員会では、既設の堰のため回遊漁の 70 パーセントが遡上できていないとのこと、コンクリートダムで流域を分断すると、まったく遡上できなくなりますし、水質も悪化します、流域に生息する、ほ乳類は(平成5年現地調査)注目すべき種は、ニホンザル及びヤマネとありますが、ヤマネは、国の天然記念物であります、工事施工にあたり、ミティゲーションはどのような措置を行うのか、同じく調査で両生類については、アマガエル等とあります、今、ピオトープでは、和歌山県の絶滅危惧種二類に掲載されているニホンアカガエルや、準危惧種のヤマアカガエル、トノサマガエル、カジカガエル、カスミサンショウウオなど沢山現れてくれます、今日アカガエルの産卵を確認しました、ヤマアカガエルと思います昨年より4日早い産卵です、魚類については、

鮎とウグイが調査の対象となっていますが、私は、鮎とモクズカニ、手長えび、うなぎ等を遊び漁として楽しんでいます、私のように夏は鮎、秋には、モクズカニを採って楽しんでいる方が多くおられます、また注目すべき種としてホトケドジョウとあります、ホトケドジョウは、切目川の固有種であるそうです、これらの生物多様性をミティゲーション措置をどのように行うのか、無くしてしまえばどんなにお金おかけてもホトケドジョウはつくれません、一般的に環境のパロメーターと言われている、ほたるやトンボ等の象徴種も沢山います、生物の多様性が今は、保たれていますが、注意して観察しないと、その地域から一種がなくなることが、一種だけで収まらない危険性があります、それが生物の多様性であります、今はメダカとかドジョウかもしれませんが、人間も生物の一員です、これらは（切目川ダム検証に係る検討（素案））に対象とされているのか、利水、治水、生き物、環境、生活、文化、風景を築いて行くための素案であってほしい。

既存の自然を活かした環境学習の場として

前記のとおり、地域には、地域ならではの宝物があります、生物多様性を維持する、地域の営み、一人ひとりが水源の保全について関心をもち、水源を保全し創出していくための、里山保全や生活の中から「水源かん養地区」として、水没地区(ダムで水没となる流域)を含む流域の(ビオトープ)地域の人々それぞれその経験を生かした、里山再生整備、自然とのふれあいや冒険体験の場を手作りして、少子高齢化、地域の多様な主体が参加して、国有林や植林の伐採により木材の活用と、跡地への植樹場利用など、ダム～ダムと22年間、施設整備が他の地域に比較して低く、住民の生活の利便性や産業の発展が阻害されています、公的補助を行えばダムの公共事業的側面を代用でき治水、利水、環境保全、生き物、農業振興に加え治水対策にもつながり生物多様性保全にも繋がるのではないのでしょうか。

平成 22 年 12 月 23 日

~~~~~  
[Redacted]  
TEL [Redacted]  
E-mail [Redacted]  
[Redacted]  
~~~~~

「ダム」より「人」による森・水田の活性化を!

ダムにより森や水田が水没してしまうのを悲しく思います。「ダム」という「物」も大事ですが、「人」によって森・水田・畑を活性化する方向へ転換できないでしょうか。

ダムはつくられたその時から、土砂がどんどんたまっていきます。当地域も山が険しいうえに、雨量が多いため、土砂ははがれやすく、20~30年でダムは土砂にうずまってしまうと思おれます。土砂はできるだけ、水や田畑につなぎとめておかなければならないことを忘れてはいけません。

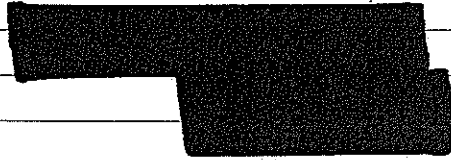
人工林の間伐などの手入れや自然林の活用（炭・しいたけの原木の育成・収穫など）を人の雇用やボランティアで、できないでしょうか。「ダム」をつくるお金を「人」の雇用等で森・田畑を守ることに使えたらよいと考えます。そうすれば、多様な動植物とも共存できる可能性はふられてくると思います。

No. 7

Date:

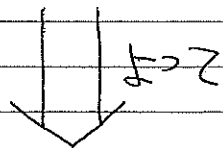
No:

★切目川ダムに反対します。

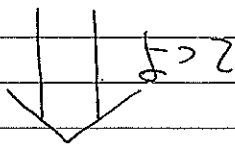


ダムに頼らない、治水案。

- 。印南町、川又地区の国有林(松、杉)と、雑木林に変える。



- 。ミネラル豊富な水が流れる。
- 。天然のダムができる



- 。真妻ワサビ、千両等、あるいは、切目川、切目地区の農業が豊かになる。
- 。印南、切目地区の漁業が栄える。



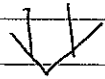
No.2.

Date:

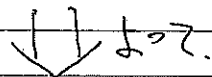
No:



。雑木林のダムが出来ると、
切目地区の洪水対策も出来る。



。ミネラル豊富な水が流れる事によって
魚類、昆虫等の生物が豊かになる。



。印南町が、例えば熊野古道のような
観光地になる。

No.3.

Date:

No:

*タム検証に係る方々へ。

。タムに頼らなり、治水の方向で

御願い申し上げます。

今、全国的にみても、この切目川は

日本一の素晴らしい川だと思います。

私自身、この切目川で育てられた者として

タムにより、切目川が、死に河川に変わる事は、
非常に悲しい事です。

今一度、検証してもらい、このタムの無い、

素晴らしい、切目川を、後世の人々に、印南町の
宝物として、残しておいて下さい。

ぜひ、願います。

合掌。

〈 県内在住の皆様から提出されたご意見 〉

切目川の動物について

- ★ 上～下流部の生物で下記の種が見られないが、どういことでしょうか。

モクズガニ（カニ）

成体は河川で生息し、秋(9～10月)に産卵のため海へ下る親カニをトラップを仕掛け捕獲し食用にして賞味するカニである。

切目川にも多く、庶民の生活になくはならないので是非、自然環境の重要種として、魚のアユと共に挙げておかれてはと考えられる。このカニは、日高地方では、「ズンゴ」と呼んでいます。

質問 ☆自然環境の面

切目川の水質について

- ★ 9地点で A類型 とあるが、これは化学的な調査によってるのでしょうか

一般には、水生生物による調査が実施されていますが、この方法ですと、きれいな水に住む生物、少しきれいな水に住む生物、汚い水に住む生物、大変汚い水に住む生物の仲間を捜して、調べた川域の水がきれい、少しきれい、汚い、大変汚いの4段階の水質が判定されます。この対策はいかがですか？

意見 ☆総括の問題点 水環境の大切さについて

- ★ 生物の多様性の確保と流域の自然環境を大切にしてください。
- ★ ダム建設で、下流、河口、海岸への土砂の流動を出来るだけ少なくして頂きたい。

ダム検証への意見

和歌山県 県土整備部 河川課の皆様には、日夜、河川のお世話でご奮闘いただき、ご苦勞様でございます。

この度、切目川ダム建設事業についての意見募集がありましたので、新聞、テレビ、専門書などから知りえた情報などを基にして、日ごろから、感じていることや考えていることを、十分ではありませんが、できるだけ簡潔に述べたいと思います。

まず、「広報いなみ 12月号」の町長メッセージ「切目川ダムについて」と、平成22年11月25日に行われた「第3回切目川ダム検証に係る検討会議」の資料を拝読しました。この資料を作成するまでの河川課の皆様の労力は、お仕事とはいえ大変だったことと推察いたします。

さて、昨年、政権交代があり、新政権が真っ先に行ったのが、コンクリートのダムに頼らない治水、利水ということで、八ツ場ダムの中止（前前原国土交通大臣）等、ダム建設の見直しが始まりました。私はとても嬉しく思っています。私と同じ思いの方が全国に大勢いるから、その声が大臣に届いたのだと確信したものです。その見直しの一つに、切目川ダムも入っていることは、昨年から知っていました。また、印南町の地元の方々からも、

「これで切目川ダムも中止になるだろう」という期待の声を、密かに聞きました。「密かに」というのは、田舎では、表立って「反対」はなかなか言えない状況があるからです。ましてや、私のように、河川課へ意見を出すなどはとても出来ないのが現実でしょう。私も、勇気を振り絞ってこの文章を書いています。

ダムを推進する方々の「地元の人」は、区長など役職についている人であって、実際、農業をされている人からの利水についての意見、生活している人からの飲み水に関してのことを聞いてから、ダムが必要だ、ということになったのではない、だから、22年もの長い歳月がかかっていると印南町の地元の方々から聞いています。私の意見は、表立ってものが言えない地元の大勢の方々の意見だとして頂ければ幸いです。

それでは、まず、ダムによる飲み水（水道水）の確保についてですが、将来、人口が増え続けて、どうしても飲み水等を確保するためにダムが必要であればいたし方ないのですが、印南町は平成21年に1万人を切り、平成22年には9200人になりました。しかも、農業をされる方も農地も減り続けています。それに、現在、農業用水は足りていますし、飲み水用の井戸水（地下水）は、あちこちに豊富にあります。

次に、昭和28年の7、18水害のような洪水を起こさないために、つまり、治水のためということですが、その後、印南町の行政のおかげでそのような洪水は起きていないし、万が一、100年に一度の大雨が降ったとしても、ハード面よりも避難訓練のようなソフト面を推進する方が命を保障できる可能性が高いと考えます。なぜなら、いかに膨大なお金をつぎこんで造っても、人間の造る物は、自然の猛威の前には限界があるからです。さらに、将来、水不足を起こさないためには、山をコンクリートで覆うのではなく、山の木々

を残し多様な広葉樹を豊かにして緑のダムを造ることが大切ではないでしょうか。膨大なお金（税金）をつかわないでできる現実的で持続可能な方法だと思います。

私達人間は、生物多様性の中で生かされています。多様な植物と動物がこの地球上に生きてくれているので、衣食住が満たされています。多様な植物と動物と共に生きなければ、人間は滅びます。私達も地球上に存在している動物の一つにすぎないのでから。

切目川とその流域には、びっくりするほどの多様な生き物がまだ生存してくれています。平成5年に和歌山県が委託した環境アセスメントの会社が行った現地調査で確認した動植物の中に、国の天然記念物のヤマネ、清流にしか棲めないタゴガエル、大きな流れでないが水が枯れない川にしか棲めないホトケドジョウ（切目川の固有種）も生息していたのです。もちろん、その他様々な動植物が生息しています。

なぜ、他の川とその流域ですでに絶滅した生き物が、切目川とその流域で生存できたのか。それは、ダムが造られてなかったからです。石や土手のある自然の川と多様な草や木々のある里山が、多様な動物を育ててくれたのです。そういうところですから、井戸水（地下水）も豊富にあり、人々の利水にも事欠かなかったのです。今のままの自然を残せば、印南町の次代の人々も水に困ることなく生きられること間違いなしです。

なお、これからの雇用は、本来の自然の山や川を再生、復元することで推進していただければ、将来の人々が安心して生きられると思います。たとえば、アメリカでは、埋没してしまってその機能を果たせなくなったダムを壊し、元の川に戻すことで雇用を進めていることをテレビで放映していました。さらに、オーストリアでは、身近にある用水路のコンクリートを剥がして、元の川に戻して子ども達の遊び場所に行っているということを大学教授の講演で聞きました。

生物多様性が失われつつある中で、わずかに残された多様で豊かな生物の棲む日本の山や川や海を次代の人々に残すのは、今生きている私達の責務ではないでしょうか。

切目川へどうかダムを造らないでください。お願いいたします。

Subject: 切目川ダム建設に関する意見

From: [REDACTED]

Date: Fri, 24 Dec 2010 21:35:26 +0900 (JST)

To: e0804001@pref.wakayama.lg.jp

ダムはムダ。ダム建設は自然環境破壊以外の何者でもない。ダムは、川の上流からの砂が海へ流入することを阻害し、ウミガメの産卵床であるところの砂浜への砂の供給を阻害する。また、魚類の遡上・降下を妨げること著しく、ダムは百害あって一利なしと断言できる。治水・利水はダム以外の方法で考えるべきである。ダムを造ろうとする周辺地域を人体にたとえるなら、全身を巡る血管に、動脈瘤や血栓を人工的に設置することと何ら変わらない。川は流れてこそ、川なのである。

[REDACTED]

〈 県外在住の皆様から提出されたご意見 〉

切目川ダム事業の検証に対する意見

氏名	██████████
住 所	〒 ██████████ ██████████
連絡先	TEL ██████████

【意見】

いずれの項目についても十分な検討がなされており、総合的な評価の結果も妥当である
と考える。

「切目川ダムダム事業の検証に係る対応方針（素案）」に対する意見

①氏名（ふりがな）		[REDACTED]			
②住所		(都道府県名) [REDACTED]	(市区町村以下) [REDACTED]		
③電話番号		[REDACTED]	メールアドレス	[REDACTED]	
④職業		会社員	⑤年齢	49	⑥性別 男
意見該当箇所		⑦御意見（1,000字を超える場合は400字以内の要旨も記載）			
頁	行				
		<p>「切目川ダム検証に係る検討」資料を拝見すると、治水効果、新規利水、流水の正常な機能の維持の各目的を見てもダムの優位性が明らかだと思います。流域住民の生命及び財産を守るためには、ぜひともダムが必要と思います。</p> <p>治水対策で近年の地球温暖化による気象変化については考慮されているのでしょうか？今後のことを考えると、もう少し安全側で計画した方が良いのではと思います。</p>			

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案) についての意見

提出者氏名：

住所及び電話番号：

意見

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案) P30・④利水上の課題1) に対する検討より、

新規開発について今回の再検証では計画時点に生じた課題と現状がかえる課題とは変わっていない。よって、課題の解決のためにはダム建設は必要と言える。

よって、建設に賛成する。

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案) についての意見

提出者氏名：

住所及び電話番号：

意見

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案) P30・④利水上の課題 2) 流水の正常な機能の維持について

に対する検討より、

農業用水の取水障害は、恒常化されておりダムを含む改善事業を進めなければ改善は望めないことが判った。よりよい地域の整備・建設がこの地域の人口の安定化につながると言われて久しい。そうでなければ、更なる地域の衰退を招く。よって、事業を早期に完成すべきと考える。

すなはち、建設に賛成する。

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案)についての意見

提出者氏名：

[REDACTED]

住所及び電話番号：

[REDACTED]

[REDACTED]

意 見

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案)に対する検討
の、P52・4.1 想定氾濫区域内人口・資産より

建設が遅れ、大きな台風がいつ来るかもしれない状況を放置することは、過去の教訓をないがしろにする間違いの政策と考えるべきである。万が一被害が生じれば、その被害の補償費を県民が負担することになり、かえって県民の負担を大きくするものである。建設の遅延は決して賛成できない。

建設に賛成し、早期のダム事業推進を望む。

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案) についての意見

提出者氏名：

[REDACTED]

住所及び電話番号：

[REDACTED]

[REDACTED]

意 見

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案) に対する検討
の、P116・河道掘削より

「環境への影響は小さい、鮎への影響に対しては、影響を及ぼさないよう必要に応じて環境保全措置を講じる。」とありますが、
誰の責任で行うのか不明確である。

この案を採用する場合に鮎への影響は大きいと創造できます。

よって、この案はダムの代替案とはなりえないのではないでしょう
うか。

ダム案が最良と考えます。

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案)についての意見

提出者氏名：

住所及び電話番号：

意 見

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案)に対する検討の、
P119・目的別総合評価結果より以下の意見を感じます。

ダムが、効果・コスト面でも最も効果があることが、この検証の結果判明したと思う。

県民に早く・判りやすく説明する必要がある。そのためには県民が耳にする機会の多いメディアを使って説明すべきと考えます。

そして、ダム建設という次のステップへ進むべき。

ダム建設に賛成します。

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案)についての意見

提出者氏名：

[REDACTED]

住所及び電話番号：

[REDACTED]

[REDACTED]

意 見

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」(素案)に対する検討の、
P178・評価結果に対して

ダムが最も有利という結果が出ている。この結果は、国土交通省の定める再評価手順に則っているのであるから(検討中記載された手順)、県民に早急に講評すべきである。いかなる反対派も納得できる検証と考える。そして、ダム建設を早急に進めることの妥当性を報告すべき。

よって、ダム建設に賛成します。

切目川ダム パブリックコメント 1

NO.	指摘箇所	コメント事項	備考
4	P48・3.3切目川ダム事業の進捗状況	事業の進捗状況を見ると、用地の取得、家屋の移転は100%完了また、転流工も完了している。進捗率で53%まで完成しているものを中止し、後処理に更に費用をかけて、効果を断念すること、残りの事業費で所定の効果を得ることを比較すれば、残りの事業を進める方が得策であり、県民の利益につながることは間違いない。早急に事業を進め、より低いコストで工事を早期に完成させることを望む。よって、事業に賛成である。	
5	P52・4.1想定氾濫区域内人口・資産	今回の再検証により、想定氾濫区域内の人口や資産について当初(H7年の調査)と今回(H17・H18)のデータを比較したところ、大きな変化は認められていない。この調査結果は、どちらも国勢調査のデータに基づくもので、客観的なデータを基に行っていることから信用できるものである。この結果では、ダム建設の必要性は変わっていないと言える。よって、ダムによらない代替対策案は考えにくく、今後も建設の是非を新たな手法によって検討することは、いたずらに地域内の住民の生命財産を危険な状況に放置することになる。よって、早期建設、工事の完成を望む。	
7	P58・4.4工期	工期予定表からすると、現在ダム事業は計画通りに進んでいると考えられる。計画通りに建設を進めれば、当初の予定通りに事業を完成させられ、当初の事業費の中で完了できると考える。再度何らかの検討などを加えることで、事業がおくれれば、事業費は遅れたぶんだけ膨れ上がると考えられる。県民の負担を小さくするために、早く工事をして完成させて欲しい。	
9	P70・複数の治水代替案(遊水地)調整池	ダム建設はまさに、遊水池を上流域に建設するものである。ダム建設の代替案としてダムでない新たな遊水池を下流域に求めることに○の評価をすることは、間違った判断といえる。また、開発水は上流にあるほど有効であり、下流域に求めることは、使用の可能性が大きく低下することから、同等の評価をすることは納得できない。この検討には賛成できない。	

切目川ダム パブリックコメント 2

NO.	指摘箇所	コメント事項	備考
3	P34・②切目川水系 河川整備計画	ダム建設に賛成する。理由は切目川水系河川整備計画概要を見ると、切目川の洪水に対する安全度は、河川改修とダム、その他ソフト対策の多重の設備整備によって成されるものである。よって、ダム建設を中止すれば、洪水に対する安全度は当初計画の目標を達成できない。よって、既に河川改修に着手している現状からすると、ダムの中止はあり得ないことになる。よって、ダムの着工、早期の完成を望む。	
8	P64・水需要計画と新規開発水量	地域の農業の近代化のためには、新規の開発水は欠かせない。それは、よりよい品質の農作物には良好な水質の供給が欠かせないからである。今後の農業はより管理型が増え、よりよい品質が競争力につながることは間違いない。農産物の輸入自由化なども進む可能性がある中で、地域の競争力を確保するためにも、新規の水資源開発は必要と考える。地域農業のためにも早期のダム建設・新規開発水の供給をお願いする。	
10	P73・河道掘削	検討案の中にも書いてあるが、河川に生息する水生生物への影響を確認しないで、〇とできるのか。技術とは、何を持って技術と言うのか。機械で掘ることができれば可能と言うのでは全くもって素人の判断。切目の河川の流況からすれば、素人目には不可能。工事期間と完了後数年間は鮎はいなくなる。環境への影響調査をさきにするべき。	

「切目川ダムダム事業の検証に係る対応方針（素案）」に対する意見

①氏名（ふりがな）		[REDACTED]			
②住所		(都道府県名) [REDACTED]	(市区町村以下) [REDACTED]		
③電話番号		[REDACTED]	メールアドレス	[REDACTED]	
④職業		会社員	⑤年齢	50	⑥性別 男
意見該当箇所		⑦御意見（1,000字を超える場合は400字以内の要旨も記載）			
頁	行				
18~44		<p>「切目川ダム検証に係る検討」（素案）の中で、今回取りまとめが行われた治水目的の総合評価、新規利水目的の総合評価、流水の正常な機能の維持目的の総合評価について拝見したところ、十分な検討がなされていると思います。資料のとおり切目川ダムの優位性、必要性は高く、早期にダム本体に着手すべきと感じました。早く地元の皆様の安心、安全を実現してください。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>			

「切目川ダム建設事業の検証に係る検討」に対する意見

①氏名	[REDACTED]		
②住所	[REDACTED]		
③電話番号	[REDACTED]	メールアドレス	[REDACTED]
④職業	会社員		
⑤年齢	46歳		
⑥性別	男		
⑦意見	<p>「切目川ダム検証に係る検討」(素案)を読みました。非常に分かりやすくまとめられていると思いました。切目川についてはダムや河川改修などの何らかの対策が必要と思います。資源の乏しい日本において、「水」は数少ない資源と思います。国内の水源地を外国人に買収される時代です、豊富な降雨を有効に利用しないことはもったいない事だと思います。ダムと他の対策工との比較からするとダムが有利と思います。「コンクリートから人へ」という政策が言われていますが、必要な事は行わなければなりません。始めてしまったダム事業だからという理由ではなく、切目川ダムを作ってもらいたいと思います。</p>		

「切目川ダム検証に係る検討」についての意見

【差出人情報】

住所：〒

氏名：

電話番号：

【意見】

（要旨）

- ・流域には豊かな自然環境が広がっており、人々の生活や農業が盛んに営まれている。一方、洪水や濁水が頻繁に発生しており、今後の異常気象の発生率向上を考えると対策が必要である。
- ・現行案はダムと河道改修の複合であり、最も確実で安全である上、コスト・工程など他の要素においても最も有利な案である。

（詳細）

- ・当事業は付替道路・転流工ともに22年度でほぼ完了するため、現行案であれば、ダム建設を残すのみである。これまでの経緯を含めて総合的に現行案（ダム＋河道改修）が最も優れていることは疑う余地がない。
- ・遊水池は実現可能である唯一の対案であると考えるが、ダムと同じ治水効果を持たせるとすると、大規模な用地問題があり、長期化することが予想される。
- ・河道改修だけで、ダムと同じ治水効果を持たせることは不可能であり、また河道を掘削すれば、堤防の強化を伴う。遊水池同様、用地問題と長期化が特に懸念される。
- ・堤防の嵩上げは技術的に不可能であり、安全性を保証できない大変危険な対策案である。いつどのように作ったか分からない、つまり現状の盛土品質が分からない堤防を嵩上げするということは、豆腐の上に盛土するのと同じ発想であり、全く理解できない。
- ・以上より、4つの対策案の中で、現行案であるダム案が最も有利であると考えられる。

隨時意見募集（募集要領、提出意見）

県土整備部河川・下水道局河川課

■切目川ダム建設事業にかかる検証

県では、切目川沿川の洪水被害を軽減するとともに、印南町の水道用水の安定確保などの対策として、切目川ダム建設事業を進めてきました。

国は、近年の財政逼迫等の社会情勢の変化に伴って「できるだけダムにたよらない治水」への政策転換を進めるとして「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」を平成21年12月に発足させ、平成22年9月27日に「中間とりまとめ」を公表し、翌28日に国土交通大臣から知事あてに切目川ダムの検証に係る検討を行うよう要請がありました。

県では、平成22年10月7日に「切目川ダム検証に係る検討会議」を設置して検証に係る検討を本格的に開始し、平成23年の出来るだけ早い時期に対応方針をまとめることを目指し、最大限の努力をすることとしております。

※ 県では、切目川ダム建設事業に係る検証について、皆様のご意見等を随時受け付けます。
頂きましたご意見につきましては、後日実施するパブリックコメントで頂くご意見と併せて一括回答致します。

- 1) 検証の流れ
- 2) 関係地方公共団体からなる検討の場「切目川ダム検証に係る検討会議」
- 3) 学識経験者からの意見聴取「河川整備計画に係る委員会」
- 4) パブリックコメント
- 5) 関係住民からの意見聴取
- 6) 事業評価監視委員会からの意見聴取「和歌山県公共事業再評価委員会」・・・未掲載
- 7) その他の意見聴取等
- 8) 参考資料
 - －切目川ダム建設事業の概要・経過
 - －切目川水系河川整備基本方針
 - －切目川水系河川整備計画
 - －切目川ダム環境委員会
 - －今後の治水対策のあり方に関する有識者会議(国土交通省HP)

1) 検証の流れ

- 国土交通大臣から県知事に対する「検証」の検討要請(平成22年9月28日)



■ 県による「検証に係る検討」

● 検討手順

- ① 検証対象ダム事業等の点検
- ② 目的別の総合評価(複数の対策案の立案、概略評価による対策案の抽出、
評価軸毎の評価、総合評価)
- ③ 総合的な評価、費用対効果分析

● 検討プロセス

- ・「関係地方公共団体からなる検討の場」(平成22年10月7日設置)
- ・「パブリックコメント」
- ・利水参画者等への確認・要請
- ・「学識経験を有する者」からの意見聴取
- ・「関係住民」からの意見聴取
- ・「関係地方公共団体の長」からの意見聴取
- ・「関係利水者」からの意見聴取
- ・「事業評価監視委員会」からの意見聴取

● 県による「対応方針」の決定、国土交通大臣への報告



■ 国土交通大臣による「有識者会議」からの意見聴取



■ 国土交通大臣による判断(補助金交付等に係る対応方針の決定)

切目川ダム建設事業に係る検証についてのご意見募集について

○ 提出方法

- ・記載様式は自由です。
- ・ご意見には「ダム検証への意見」の明記と氏名、住所(市町村名のみ)をご記載のうえ、郵送、FAX、電子メールのいずれかにより下記提出先に提出してください。
切目川ダム建設事務所、印南町建設課まで持参して頂くことも可能です。
- ・口頭および電話によるご意見の受付はいたしませんので、ご了承願います。
- *ご意見等の概要を公表する際には、氏名等は公表しません。

個人情報、個人情報保護法に基づき取り扱います。

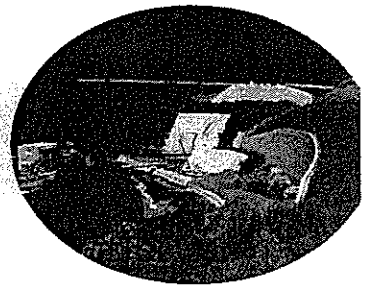
○ 提出先

住 所 : 〒640-8585(県庁専用郵便番号につき、所在地記載不要)
和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課 宛
TEL : 073-441-3134
FAX : 073-433-2147
E-mail : e0804001@pref.wakayama.lg.jp



『住んで良かった』 印南町を目指して

町長メッセージ



切目川ダムについて

切目川ダムの進捗については、報道等でご存知の方も多いと思いますが、現在、国から、ダムをつくることの再検証を求められていますので、その作業を事業主体である県にやってもらっています。

今後は、代替案の抽出、関係団体等の意見聴取を行い、2月末頃までには検証結果を国に報告できるよう作業を進めていきます。

そんな中、実施町である印南町にも、意見が求められているのですが、次のような理由から、その必要性を説明しています。

- ①事業計画の段階ならともかく、長年（S62年スタート：約22年）かけて議論し、決定、用地買収は100%完了、工事も本体着工のみを残した最終段階にあること
 - ②治水（洪水調節など）、利水（農業用水）、水道水確保の観点からも、非常に有効な対策であること
 - ③町の負担が事業費（159億）または維持管理においても1%と低く、②の効果に加えて、経済効果も考えられ、有利な事業と言えること。
 - ④ダムをつくる前提で、現在、切目川下流域において河川改修を行っているが、他の方法となると、今までの事業のやり直し、河川計画の見直し、多大な改修費用とそれに要する時間（期限の利益）を考えても、相当無理が出てくると考えること
 - ⑤現在、ダムの予算と組み合わせて、国道425号の付け替え道路、稲原地区（700トン）、山口地区（300トン）への給水管敷設の計画を行っているが、そういった関連事業への遅れが懸念されること。
- 全国には、印南町のような、県が事業主体で

ある「補助ダム」といわれるところが53あります。そのうち①にも有るように、本体着工直前（転流工）のところまで、事業進捗がなされているところは、印南を含めて3か所。

また、現在、全国各地でこういった作業は行われていると聞いていますが、新聞等見る限り、今回の検証によって事業を中止するところはないと聞いています。

なぜか？それは、今回の検証作業は場所によっては相当無理があったからだと考えています。

検証作業の資料の中にはしきりに「コスト重視」ということがうたわれています。これはすなわち、「ダムにはお金がかかるから、他の方法を考えて」ということに他ありません。これから、計画を煮詰めていくとか、買収に取り掛かるとかであれば、コストや自然のことを考えて計画の変更もあり得たのかもしれない。

しかし、印南においては、ここまで来て、コストや時間、自然環境などの影響を考慮したとしても、「ダムをやらない理由」を考えるほうが難しいし、現実的ではないと考えます。

世界的な異常気象の中で、100年に一度と言われるようなゲリラ豪雨が頻繁に起こっています。また、100年先まで年間降水量は、相対的に減ってくると予想されて、渇水の可能性も大きくなります。そういった中で、河川改修よりも間違いなく、利水、治水能力のあるダムを推進していくことが、印南町のためになると私は考えています。

意見やご批判もあるかも知れませんが、利己的、感情的にならずに、冷静な、客観的な理解をして頂くよう、皆さんにはお願いを申しあげ、今回のメッセージとさせていただきます。

切目川ダム建設事業に係る検証についての意見募集について

- 提出方法 記載様式は自由です。ご意見には「ダム検証への意見」と明記し、氏名、住所（市町村名のみ）をご記載のうえ、郵送、FAX、電子メールのいずれかにより提出してください。切目川ダム建設事務所（大字古井）または役場建設課まで持参して頂くことも可能です。口頭及び電話によるご意見の受付はいたしませんのでご了承ください。なお、頂きましたご意見については、後日一括して回答する予定です。
 - ※ご意見等を公表する際には、氏名等は公表しません。個人情報、個人情報保護法に基づき取り扱います。
 - 提出先 〒640-8585（県庁専用郵便番号につき、所在地記載は不要）和歌山県 県土整備部 河川課 宛
 - 資料閲覧 切目川ダム建設事務所・役場建設課にて（県河川課HP・印南町HPにも掲載）
- ☎073-441-3134 FAX 073-433-2147 E-mail : e0804001@pref.wakayama.lg.jp

河川課 さま

切目川ダム検証への意見

二級河川切目川流域整備計画～切目川ダム建設事業～今後の治水対策のあり方に関する有識者会議～中間取りまとめ～切目川ダム検証に関する検証会議の設置より県では、切目川ダム建設事業に係る検証について、皆様のご意見等を随時受け付けます。

切目川漁協総会

平成 20 年 2 月 26 日

切目川防災センター

切目川漁業補償は、■■■■とのことでした、私は何年補償していただけるのか訊ねた、一回きりとのことでした、ダムの水没面積で、あゆの補償との事、魚道を設置してほしいなど意見があった。

漁業組合への補償について、隣の、島ノ瀬ダムの補償はと、河川課へ尋ねたところ、島ノ瀬ダムは農林水産省の管轄で当事者でない河川課では、お答えできる立場でないとのことですが、■■■■が、■■■■■■■■■■とのことだそうです。

平成 20 年 7 月 13 日(日)

事業説明会開催

日高振興局別館

公開説明会のため質問は記録を執ると言っていたが、配布資料はA3裏表カラーの切目川ダムパンフレットの印刷物一枚で、事業の説明になってなかったように思った、このときも魚道を設置してほしい又印南町でも説明会を開催してほしいと要望していた。

平成 20 年 10 月 9 日 メールにて

河川課へ

平成 11 年切目川河川整備計画の素案の説明を受けました。

その時、いくつか質問をしています。

ダムに土砂が溜まるとのことなので、下流に流れる土砂が少なくなり、切目大浜が痩せて、塩害の心配は、・・・調査の結果大丈夫との答えでした。

文章でも・・・切目大浜をまっすぐ海に流す事が地域の冠水に緩和されるのならこの河川整備計画にいれては等々

地域では、国道 425 号線の付け替えが切目川ダム河川整備計画と平行して進んでいて、私も含む地域の人々は国道の早期完成を望んでいます。

ダムは、計画から年月もずいぶん経過し、その後、河川整備計画で下流域の整備により平成 18 年 5 月 7 日古井観測で 2.28m・平成 18 年 7 月 5 日古井

平成11年11月二級河川切目川水系河川整備計画の説明会に、ダム環境への影響については、「工法より大きな差が出るので影響をゼロに近づけるための工法をこれから数年かけてみっちり検討する」河川環境の保全、動植物の生息、生育環境の保全に勤めると約束した。そして11年が経過し、切目川ダム環境委員会が発足され、又地域の環境アセスメントの整合性等、本当に検討を重ね論議されたのか疑問で、(質問しても何の答えも返ってこない)このような状況では、後世に、大きな禍根を残すのではないかと・・・

今までは、ダムありきで進んでいますし、国道425号との整合性等あって地域でも大手を振れませんでした、清流をこのまま保全するためにも、切目川ダムに魚道の設置は私達の願いであります、切目川ダムに魚道の設置は、費用対効果で出来ないとのこと、事業コスト低減のため魚道設置は出来ないとのことですが、環境への影響から生物多様性や地域産業を費用対効果と言うことだけで切目川にダムを建設するのであれば疑問です。

切目川ダム環境委員会が平成19年7月2日切目川の現状把握、古井地内深山橋では「素晴らしい環境これぞ日本の風景」と豊かな自然が残っていることを絶賛と地方新聞に掲載されていた、和歌山県には、生態系の頂点のツキノワクマヤコウノトリまで見られる日本の源風景が残っています。

地域や動植物の保全対策について

環境対策の結果が設計・施工にフィードバックされているのか、モニタリングによる対策効果に関する課題が共有されているのか、対策により設置したダムの維持管理の持続性や、維持管理作業を誰がいつまで継続していくか不明確で、中長期的な投資効果の視点が乏しく完成後を見込んだ財政的裏づけが無く適切な維持管理が出来にくい、切目川流域河川整備計画当初は、ダムの周辺整備や印南町水道水の一本化、地域活性化に大きな夢を託していたが・・・

代替案として

前書のとおり、切目川流域河川整備計画の成果が出ています、切目地内の河川改修の湾曲部(高垣地内)の有効利用に印南町水道の水源地として利用し、遊水地帯の河川整備や昔からの、子ども達の遊び場としての利用ができないか、川は人々の暮らしから遠ざけられたが、川に興味や関心を持つ環境学習が、治水対策に繋がるのではと思います。

切目川の山村では、下流域に切目があり、その中流域に切目川、最上流に真妻地区があり、上流部の人々が定住して山を守っているため、下流の田畑が守られ、農業が持続され下流に住む人々の生活の安全が保たれています。また、切目川の山村で営まれている農林業には、経済的機能だけでなく、水資源かん養や洪水調節、国土や環境保全など多面的な機能があり、こうした機能は、村や、集落が長く長く気づき上げてきた生活の中から生まれた、つまり、海まで

しっかり流れる流域があって、初めて守られるものではないでしょうか。しかし、近年の環境の変化により、本来の豊かな自然生態系が失われつつあり、一番山奥の一軒家が離村すれば、次の家も崩れだんだんみんな村を離れていくという現状も進みつつあります、

隣の日高川樺山ダム状況を2010/11/11の紀伊民報の掲載記事コピー

(2) 覚書で設置した協議会を再編成し、有識者を加えて漁業振興策などについて検討する一の2点。覚書には、県は日高港の港湾整備に伴い、洪水時の濁水対策について具体策を講じることや、港湾整備によって漁業に影響が生じた場合に協議の上誠意を持って対応する一などが明記されている。

漁協側が骨子案について出した主張書面によると、今回の内容についてはおおむね理解を示しているが、(2)について当事者同士の協議で具体策が打ち出されないまま来た過去の経緯を指摘、「公害調停の場で、拘束力のある具体策を立てたい」と要望している。

県側は、調停が非公開であることを理由にコメントを拒否している。

同漁協によると、アワビなどの貝類の水揚げ高は89年度に年間約45トン(1億4400万円)あった。樺山ダムが供用(88年)された後状況は急変。90~91年ごろから水深の深い所で藻が枯れ始め、その後被害は浅場にも及んできたという。96年度から貝類の水揚げが激減し、2009年度には1.7トン(500万円)まで落ち込んでいる。

と掲載されている、切目川についてもコンクリートダムが建設されると色々な弊害が起こるのではと思います。

流域への雨水は、森林の腐葉土を透ってフミン酸・フルボ酸と言う酸を田畑や住民生活に利用され鉄分を多く含んで海まで運ばれ流域の作物を育て、長く長く気づき上げてきた生活の中から生まれた営みが海の磯焼けや、上記掲載の樺山ダムのようなことが起きるのかも知れません、コンクリートダムの完成後を見込んだ財政的裏づけをしっかりとしないと、水道水の臭いだったり、地域の主産業にも、影響が出てくるかもしれません。

平成22年11月16日

~~~~~  
 [Redacted]  
 [Redacted]  
 [Redacted]  
 TEL [Redacted]  
 E-mail [Redacted]  
 [Redacted]  
 ~~~~~